

# 地質ニュース

昭和 52 年 9 月

第 277 号

1977

|       |   |  |    |
|-------|---|--|----|
| 解 説   | 石炭化度と埋没深度との関係について……………                      | 二 塚 亨 敏 昭 輔 進<br>敬 正 良 泰                 | 1  |
|       | 地球化学的標準試料④<br>GSJ JG-1 JB-1 の化学成分～その2……………  | 厚 一 子 滋 夫<br>藤 沢 森 島 波<br>安 倉 大 寺 井<br>和 | 10 |
|       | 地震!! こぼればなし(その1)……………                       | 石 山 尚 博<br>高 橋                           | 16 |
|       | 卓上型電子計算機によるいくつかの計算例<br>その3 CIPW ノルム 計算…………… | 吉 井 守 正                                  | 24 |
| 海外事情  | ラモント・ドハティ地質研究所(その1)……………                    | 名 取 博 夫                                  | 31 |
|       | アナトリア西部の水銀鉱床……………                           | 高 島 清                                    | 40 |
|       | ソ連のウラン鉱床(2)……………                            | 岸 本 文 男                                  | 46 |
|       | 八ガ岳 YATSUGATAKE……………                        | 河 内 晋 平                                  | 62 |
| 地学と切手 | ナウル島とギルバート諸島の燐鉱床切手……………                     | P. Q.                                    | 15 |
|       | 地質調査所の出版物……………                              |  | 39 |

## 編 集 地 質 調 査 所

### 表 紙 の 写 真

### 緑色片岩中の褶曲した石英脈

写真の褶曲した石英脈(中央の蛇状にうねった白い部分)を含む岩石は北海道の神居古潭変成帯中の緑色片岩で 旭川市と幌加内町の境にある江丹別峠東方の道路沿いに露出する。写真で 褶曲した石英脈にはほぼ直交する方向が緑色片岩の一般的片理の方向であるが 緑色片岩にも 褶曲した石英脈に調和的な微褶曲がみられ より細かい石英脈もあちこちにみられる。中央部の太い石英脈の径は 約 2 cm で 細粒の石英(径 0.2~0.05mm)の集合からなるが ときに曹長石や 緑れん石が含まれている。写真をよくみると 石英脈をふちどる濃緑色緑が発達している(写真では黒色)。これにはまわりの緑色片岩と同様の変成鉱物(緑泥石ほか)が晶出しているが 他に比べ石英がいちじるしく少ない。このような褶曲した石英脈などは神居古潭変成作用に関係した変動時にできたもので 局所的な横圧力による褶曲とともに割目が生じ 濃緑色緑を伴う石英の分認脈が形成されたものであろう。因みに この付近は 神居古潭変成帯のなかでも らん閃石英角閃石 ローソン石 エジェル石など 特殊な変成鉱物の産地として有名なところである。

(文 猪木幸男 写真 正井義郎)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社